

道學者は知らん顔をしてゐた。(一一、九、二六)

哺乳類のいろいろ

平地光瀟

ぐるぐる廻る地球上に
ウヨウヨ動く動物の
その数の半は哺乳類。
數へ上げればヒヒゴリラ
狸々等は人に似て
類人猿と稱へられ
キヤッキヤと叫ぶ猿類と
一所に合せて靈長類。
聞くのも恐きライオンや
虎狼や灼ひぐま
北海産の白熊や
うらの可愛い、小猫まで
他の獸類を食ふ故に
食肉類の名を得たり。
晝間は屋根の蔭に居て
黄昏時に飛び廻る

うすいみ色のこもりや
小笠原産の大かうもりは
前肢長じて翼の様
故に翼肢類と云ふ。
田地や島を据りまわし
小虫類を捕え食ふ
眼は大方用なさず
お日様は禁物の
おかしなモグラは食虫類
まだ妙なのは契齒類
此の類すべて憶病者
齒がズンズンとのぶ故に
大事な膳碗タンスまで
かちつて廻る悪ネズミ
リスやウサギやモルモット
此等はすべて此の種なり。
アフリカ、亞細亞の産物で
大きなクセに忠實で
人の手傳ひ小守まで
細目でセツセとする象は
鼻が名物長鼻類。

最も人の役に立つ

牛馬等を初とし

水牛、トナカイ、鹿や犀

氣の荒々しい河馬等も

みんな合せて有蹄類。

南洋の中の大洲で

オーストラリヤの産物で

カンガルーや袋獺

お腹の袋に子を入れて

ネン／＼コロリと守をする

面白おかしい有袋類。

陸は小さくてすみ切れず

海の湖に乗つかつて

魚の類を捕へ食ふ

鯨は魚徧書くけれど

此も立派な哺乳類

此の他ラッコ、オットセイ

四肢は變じて尾ヒレの様

水に棲む故遊水類

鳥か獸かわからない
こうもりよりもまだ妙な

單孔類は熱帶産

體は獸の様なれど

口には齒がなくそのかわり

黄色い口ばしもつてゐる

足はかもめの足の様

チャンと水かき付いてゐて

泳ぎ廻つて魚を捕る

オーストラリヤのカモノハシ

アリクイ等の此の種類

尿道糞道一孔なり

又此の類には齒が無く

貧齒類とも稱せらる。

すべて哺乳類の條件は

温血、胎生、背骨あり

皆子は乳にて養育す。

寒熱温の三帯に

亘りて棲める哺乳類

その數上げれば幾千萬
嗚呼地球は大きいなあ。